

古いものと新しいもの ヘブル 9:1-5

1. **初めの契約にも礼拝の規定と地上の聖所とがありました。(9:1)**
 - a. 契約には規定が伴う。初めの契約、すなわち古い契約には規定があった。新しい契約にも規定がある。
 - b. 古い契約の規定は非常に細かく長ったらしいものであった。古い契約の主なポイントは、祭司が儀式的にきよめられ聖別されることにあった。古い契約においては人が汚れる理由となる項目が山ほどあった。
 - c. しかし新しい契約は人が身体的に汚れるということよりも「礼拝する者の良心を完全にする(9節)」ことが強調されている。

2. **幕屋が設けられ、その前部の所には、燭台と机と供えのパンがありました。聖所と呼ばれる所です。(9:2)**
 - a. 古い契約と新しい契約の違いは幕屋のレイアウトと聖所と至聖所の分かれ目にある。聖所は古い契約を表し至聖所は新しい契約を表す。
 - b. また、聖所とは古い契約だけでなく古い人を象徴しているともいえる。そして至聖所はキリストにあって新しく生まれた人を象徴しているといえる。
 - c. 聖所の中にあるものを見てみよう。燭台は聖書的にはイエスの象徴であるが、黙示録では教会を表す。供えのパンは交わりの象徴であり、またイエスとイスラエルの12部族を表す。パンが置かれているテーブルも交わりの場所を表す。
 - d. 多くのクリスチャンは聖所に留まることで満足しているのではないだろうか。聖なる場所で、イエスがおられ、教会もある場所だからである。

3. **また、第二の垂れ幕のうしろには、至聖所と呼ばれる幕屋が設けられ、そこには金の香壇と、全面を金でおおわれた契約の箱があり、箱の中には、マナのはいった金のつぼ、芽を出したアロンの杖、契約の二つの板がありました。(9:3-4)**
 - a. しかし最も聖なる場所は、イエスがお入りになり、誰も招かれたことのない場所である。
 - b. 香壇は聖徒の祈りと礼拝を象徴する。それは交わりを超え、キリストの体や教会の一部となることを超え、キリストと深く親密な関係になることである。
 - c. 契約の箱の中には、マナの入ったつぼ(神の備え)、アロンの杖(復活の力)、契約の板(聖なるいのち)があり、これは真に聖化を求める人たちのためのものである。これも交わりを超えキリストと親密な関係にある生き方を表す。

4. **また、箱の上には、贖罪蓋を翼でおおっている栄光のケルビムがありました。しかしこれらについては今いちいち述べることはできません。(9:5)**
 - a. ここは神と直接出会うことのできる場所である。このような形で神と出会うことは珍しいが、旧約、新約聖書の中にはともにそのような体験をした人の例が出てくる。
 - b. この至聖所が私たちにも開かれている。今までに数人が到達した神の恵みの座で神と直接お会いできるように私たちは招かれている。これは神からの招きである。